

# 企業景況調査報告書

(平成29年4～6月期)

## < 目次 >

調査の概要・結果概要	・・・・・・・・・・	1
質問2（直面している経営上の問題点）	・・・・・・・・・・	2
質問3（事業承継の予定）	・・・・・・・・・・	3
質問4（意見等自由記載欄）	・・・・・・・・・・	4
DI集計結果・分布	・・・・・・・・・・	5～7
調査票様式	・・・・・・・・・・	8

倉吉商工会議所

倉吉市明治町 1037-11

TEL 0858-22-2191

FAX 0858-22-2193

Email [cci3103@kurayoshi-cci.or.jp](mailto:cci3103@kurayoshi-cci.or.jp)

# 倉吉商工会議所企業景況調査報告書（平成29年4～6月）

## 調査対象企業

倉吉市内の商工会議所会員企業 100社

（建設業22社、製造業19社、卸売業11社、小売業21社、サービス業21社、その他6社）

## 調査方法

各事業所宛てにFAXにて調査票を送付し、FAXにて返信依頼。必要に応じて訪問回収。

## 調査時期

平成29年7月上旬～平成29年7月中旬

## 回収状況

88社（回収率88%） ※前回（1～3月）77社

（建設業20社、製造業17社、卸売業10社、小売業21社、サービス業14社、その他6社）

## <今期の状況>

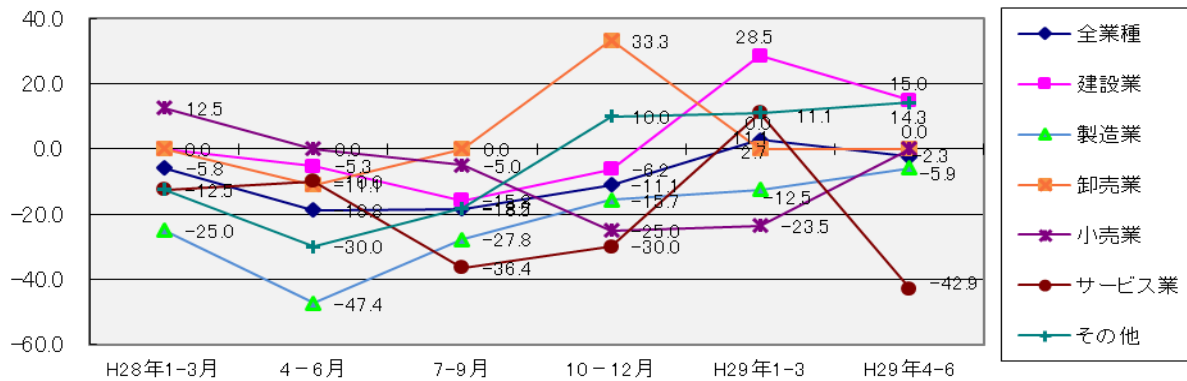
今期の全業種の業況DIは、前年同期比で前期の2.7から下降し、▲2.3となった。業種別に見ると、製造業・小売業・その他の業種で上昇しており、それぞれ製造業が▲5.9（前期▲12.5）、小売業が0.0（前期▲23.5）、その他が14.3（前期11.1）であった。一方、建設業、サービス業は下降しており、建設業は15.0（前期28.5）、サービス業は▲42.9（前期11.1）となった。サービス業については、前期まで上昇傾向にあったが、今期は大きく下降している。卸売業については0.0と変わっていない。

## <来期の見通し>

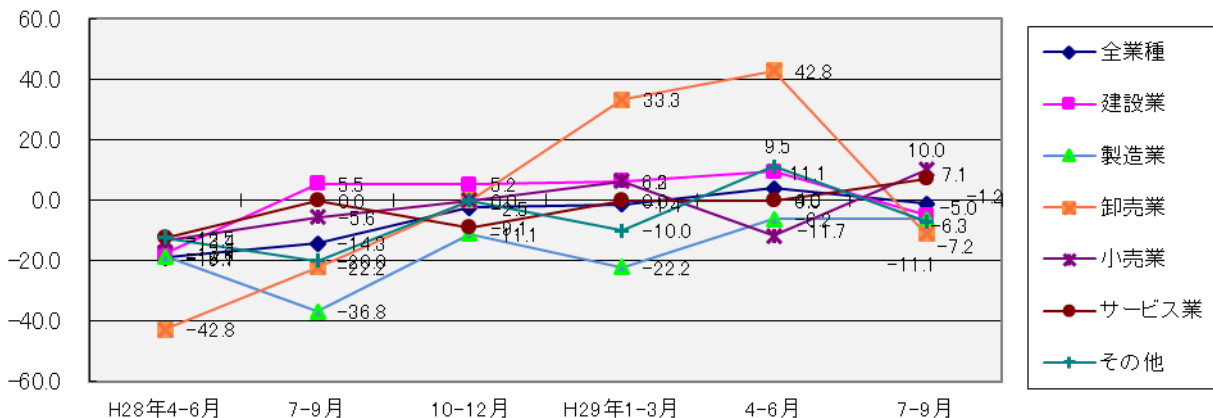
来期の見通し（平成29年7～9月）では、6業種中4業種で下降傾向にあり、全業種の数値は▲1.2（前期4.0）となっている。業種別に見ると、小売業が10.0（前期▲11.7）、サービス業が7.1（前期0.0）と上昇した。一方、建設業では▲5.0（前期9.5）、製造業は▲6.3（前期▲6.2）、卸売業は▲11.1（前期42.8）、その他は▲7.2（前期11.1）と下降の見通しである。

<業況判断DIの推移> ※今期のDI値集計結果についてはP4をご参照下さい。

(1) 今期の状況 <業種別>



(2) 来期の見通し<業種別>



## ※DI値

売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を示します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。

したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりという意味するものです。DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

質問2 直面している経営上の問題点（上位3点を回答）

- 01 競争激化 02 消費・需要の停滞 03 売上・受注減少 04 売上・受注単価低下  
 05 原材料・仕入価格上昇 06 原材料・在庫不足 07 原材料・在庫過剰  
 08 店舗・生産設備不足・老朽化 09 店舗・生産設備過剰 10 経費の増加 11 人手不足  
 12 人手過剰 13 利益率低下 14 代金回収難 15 資金繰り難 16 新分野進出  
 17 その他:具体的に( )

〔上位項目〕

※ ( ) 内は件数

分類		1位	2位	3位
全業種	当期	売上・受注減少 (31)	人手不足 (30)	競争激化 (25)
	前期	競争激化 (33)	人手不足 (27)	売上・受注減少 (25)
建設業	当期	人手不足 (11)	経費の増加 (10)	原材料・仕入価格上昇 (9)
	前期	人手不足 (12)	原材料・仕入価格上昇 (10)	経費の増加 (8)
製造業	当期	店舗・生産設備不足・老朽化 (6) 売上・受注減少 (6)	競争激化 (5) 経費の増加 (5)	原材料・仕入価格上昇 (4) 人手不足 (4) 利益率低下 (4) 新分野進出 (4)
	前期	競争激化 (7) 売上・受注減少 (7)	店舗・生産設備不足・老朽化 (5)	消費・需要の停滞 (4) 人手不足 (4) 利益率低下 (4) 新分野進出 (4)
卸売業	当期	競争激化 (5) 消費・需要の停滞 (5)	売上・受注減少 (4) 人手不足 (4) 利益率低下 (4)	原材料・仕入価格上昇 (2) 経費の増加 (2)
	前期	競争激化 (6)	原材料・仕入価格上昇 (3)	消費・需要の停滞 (2) 売上・受注減少 (2) 人手不足 (2)
小売業	当期	消費・需要の停滞 (13)	競争激化 (8)	売上・受注減少 (7)
	前期	消費・需要の停滞 (9)	競争激化 (8)	売上・受注減少 (6)
サービス業	当期	売上・受注減少 (9)	消費・需要の停滞 (5) 人手不足 (5)	競争激化 (4) 利益率低下 (4)
	前期	消費・需要の停滞 (5) 売上・受注減少 (5)	競争激化 (4)	人手不足 (3)
その他	当期	競争激化 (4)	経費の増加 (3)	人手不足 (2) 利益率低下 (2) 新分野進出 (2)
	前期	経費の増加 (3)	競争激化 (2) 消費需要の停滞 (2)	売上・受注減少 (1) 売上受注単価低下 (1) 原材料・仕入価格上昇 (1) 店舗・生産設備不足・老朽化 (1) 人手不足 (1) 利益率低下 (1)

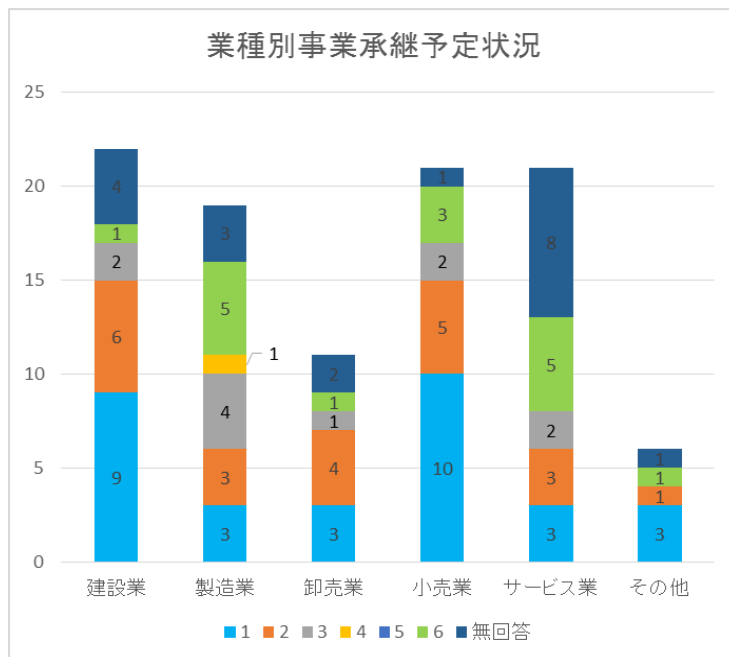
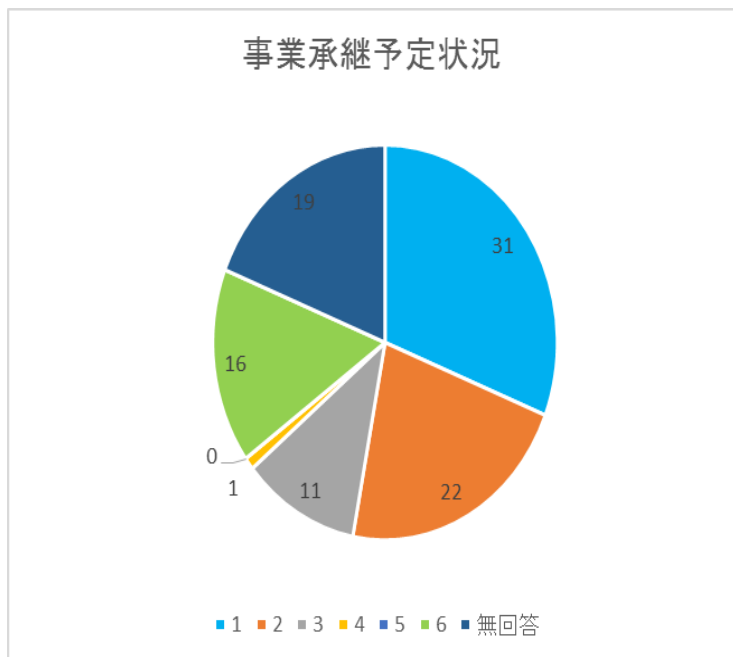
17. その他の課題

※安定した収益の確保（建設業）、熟練者の不足（サービス業）、人材不足（サービス業）

質問3 貴社の事業承継の予定について、該当する番号に○印をご記入ください。

<事業承継の予定>

事業承継の予定については、「後継者が決まっている」又は「後継者候補がいる」と回答されたのが過半数を超えており、後継者が決まっている事業所が31事業所、後継者候補がいる事業所は22事業所であった。一方、28事業所では、後継者及び後継者候補がいない状況であったが、そのうち16事業所については経営者が若く、後継者を決める必要が無いという状況であった。



- 1.後継者が決まっており、その後継者に事業を承継する(水色)
- 2.後継者は決まっていないが、後継者候補はいる(茶色)
- 3.後継者は決まっておらず候補もいないが、事業は継続したい(灰色)
- 4.後継者がいないため、M&Aによる売却を考えている(黄色)
- 5.現在の事業を継続するつもりはない(青色)
- 6.自分がまだ若いので、後継者を決める必要がない(緑色)
- 7.無回答(紺色)

<事業承継予定集計表>

	質問3							無回答
	1	2	3	4	5	6		
建設業	9	6	2	0	0	1	4	
製造業	3	3	4	1	0	5	3	
卸売業	3	4	1	0	0	1	2	
小売業	10	5	2	0	0	3	1	
サービス業	3	3	2	0	0	5	8	
その他	3	1	0	0	0	1	1	
合計	31	22	11	1	0	16	19	

#### 質問4 現在の景況感、企業経営上の問題点等について（要望意見等記入）

##### 【建設業】

- ・専門工事業者の人手不足が深刻。
- ・発注時期が偏らないようお願いしたい(特に公共工事)。
- ・毎年ある程度の発注量を確保して欲しい。
- ・新人の確保を目指したい。
- ・昨年に比べ売上減で、利益が減になっているので、今期後半に力を入れたい。

##### 【製造業】

- ・人手不足により、人件費を上げ続けているが、売上高や単価は上がらない為、利益は下がり続けている。
- ・県の人口が減少する中、誘致企業も人員が集められず、鳥取に出てこなければよかったという意見も聞く。
- ・5年先、10年先の人員確保が危うい。
- ・運賃を9月より値上げ要請がきているが、いまだ具体的な価格が提示されていない。
- ・県外の仕入資材等についても運賃の値上げによる値上げ要請があり、どの程度でおさまるか不安がある。

##### 【卸売業】

- ・高齢化に伴う出荷者の減少、廃業等による買方先の減少により取扱高、売上、単価等減少傾向にある。
- ・雇用創出のため、川上～川下まで儲かる林業の構築の検討が必要。
- ・人手不足により、人件費の上昇が問題である。

##### 【小売業】

- ・県職員の平均支給ボーナス65万円というニュースは、民間と違いすぎるのでやめてもらいたい。
- ・必要な人材が集まらない。
- ・客数の減少。

##### 【サービス業】

- ・受注状況を見ながらではあるが、高齢労働者と若年労働者の切替をする必要があると思っている。
- ・人は不足していないが、将来の事を考えると若い技術者育成は必要であるので、採用を考えざるを得ない。
- ・農林水産業、工業には助成金が多いが、飲食業には少ない(ほとんど無い)。使えるものはないか。
- ・農業の後継者、高齢化による放棄地
- ・飲食業界では大型チェーン店の増加で個人店は確実にお客をとられている。
- ・大型店は私たちが取引が出来ず、地元メリットはあまりない。
- ・地震のダメージもまだあるが、景気はまだ良くない。

##### 【その他】

- ・消費、需要の停滞に合わせ、周辺環境の変化により売上が減少。

D I 集 計( 前年同期比＝H29年4～6月期、来期の見通し＝H29年7～9月期)

【製造業・非製造業別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 資金繰り	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	2.3	-4.6	-1.1	0.0	-3.4	-2.3
製造業	23.6	-6.3	5.9	6.3	5.8	-6.2
非製造業	-2.9	-4.3	-2.8	-1.4	-5.7	-1.5

	4. 借入難度		5. 収益状況		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	1.2	13.9	8.1	8.2	5.9	0.0
製造業	5.9	6.3	11.8	12.5	0.0	6.3
非製造業	0.0	15.9	7.2	7.3	7.3	-1.5

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-2.3	-1.2
製造業	-5.9	-6.3
非製造業	-1.4	0.0

【業種別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 資金繰り	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	2.3	-4.6	-1.1	0.0	-3.4	-2.3
建設業	10.0	0.0	25.0	15.0	10.0	5.0
製造業	23.6	-6.3	5.9	6.3	5.8	-6.2
卸売業	0.0	10.0	-10.0	10.0	-20.0	0.0
小売業	-10.0	-9.6	-23.9	-14.3	4.8	-5.3
サービス業	-28.6	0.0	-14.3	-7.2	-35.7	7.2
その他	33.3	-33.3	16.7	-16.7	0.0	-33.3
非製造業	-2.9	-4.3	-2.8	-1.4	-5.7	-1.5

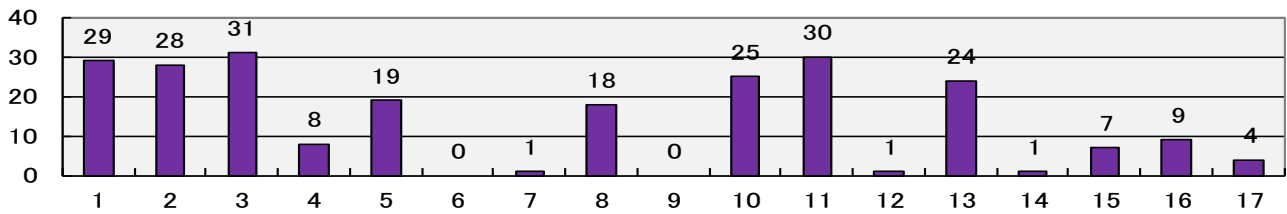
	4. 借入難度		5. 収益状況		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	1.2	13.9	8.1	8.2	5.9	0.0
建設業	15.0	5.0	10.5	10.5	20.0	-10.0
製造業	5.9	6.3	11.8	12.5	0.0	6.3
卸売業	10.0	10.0	10.0	10.0	-11.1	-11.1
小売業	-14.2	5.2	4.7	5.2	5.3	11.1
サービス業	-14.3	7.2	-7.1	7.1	-7.1	0.0
その他	16.6	0.0	33.3	0.0	14.3	0.0
非製造業	0.0	15.9	7.2	7.3	7.3	-1.5

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-2.3	-1.2
建設業	15.0	-5.0
製造業	-5.9	-6.3
卸売業	0.0	-11.1
小売業	0.0	10.0
サービス業	-42.9	7.1
その他	14.3	-7.2
非製造業	-1.4	0.0

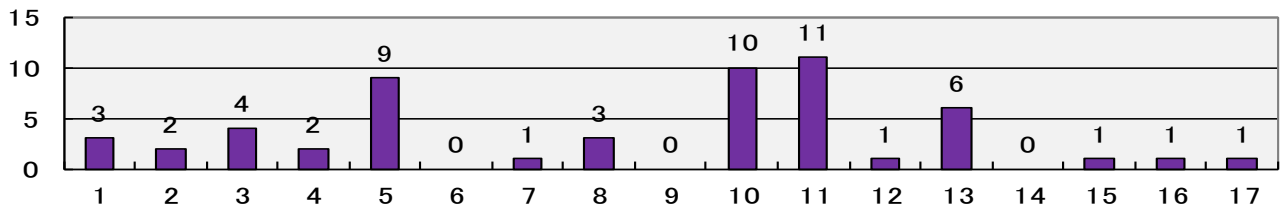
質問 2 今期直面している経営上の問題点

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| 1 競争激化          | 10 経費の増加 |
| 2 消費・需要の停滞      | 11 人手不足  |
| 3 売上・受注減少       | 12 人手過剰  |
| 4 売上・受注単価低下     | 13 利益率低下 |
| 5 原材料・仕入価格上昇    | 14 代金回収難 |
| 6 原材料・在庫不足      | 15 資金繰り難 |
| 7 原材料・在庫過剰      | 16 新分野進出 |
| 8 店舗・生産設備不足・老朽化 | 17 その他   |
| 9 店舗・生産設備過剰     |          |

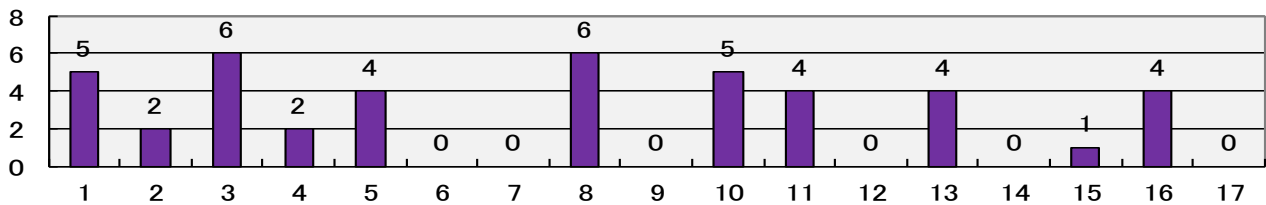
全業種(複数回答)



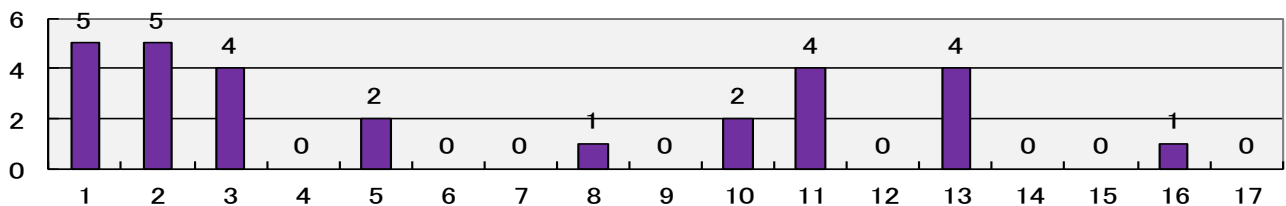
建設業(複数回答)



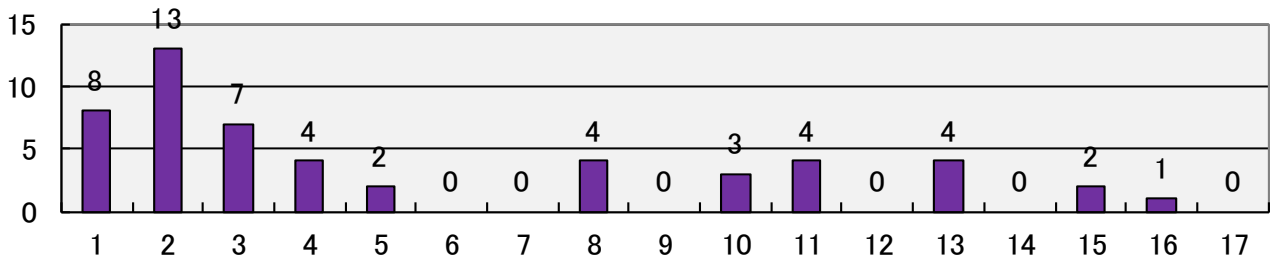
製造業(複数回答)



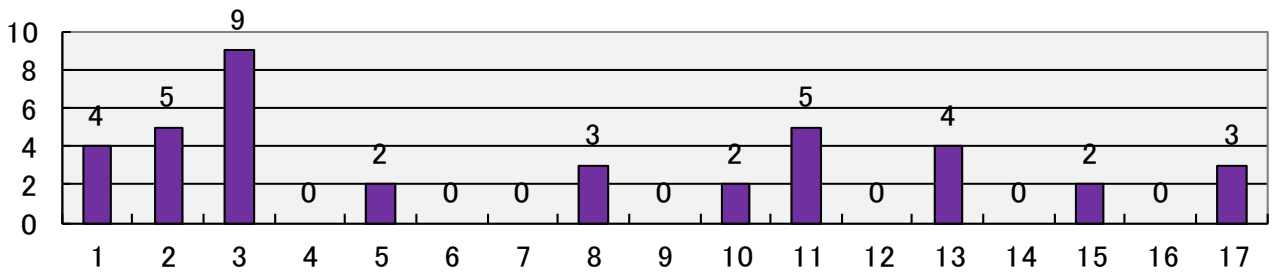
卸売業(複数回答)



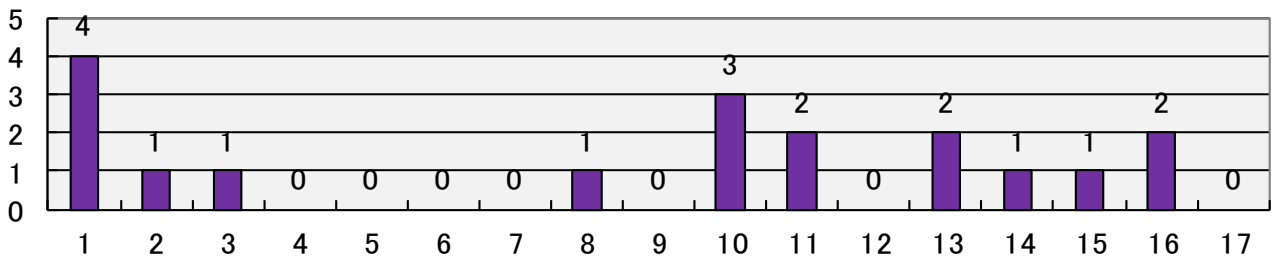
小売業(複数回答)



サービス業(複数回答)



その他(複数回答)





事業所名: \_\_\_\_\_ (お手数ですがご記入をお願いします。)

㊞

### 倉吉商工会議所企業景況調査票(平成 29 年 4～6 月期)

調査元：倉吉商工会議所 TEL:22-2191

FAX:22-2193

【質問1】前年同期と比較した今期(平成 29 年 4～6 月)の状況と、今期と比較した来期(平成 29 年 7～9 月)の見通しについて、最も近いものに○印をお付けください。

1) 売上高	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
	(来期の見通し)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
2) 売上単価	(前年同期比)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
	(来期の見通し)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
3) 収益状況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
4) 資金繰り	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
5) 借入難度	(前年同期比)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
	(来期の見通し)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
6) 雇用人員	現在の従業員数 _____ 人(うち正規雇用者 _____ 人)			
	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
	(来期の見通し)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
7) 貴社の業況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化

【質問2】今期直面している経営上の問題点について、重要度の高い順に該当する番号を回答欄へご記入ください。

		回答欄
01 競争激化	10 経費の増加	1位 _____
02 消費・需要の停滞	11 人手不足	
03 売上・受注減少	12 人手過剰	2位 _____
04 売上・受注単価低下	13 利益率低下	
05 原材料・仕入価格上昇	14 代金回収難	3位 _____
06 原材料・在庫不足	15 資金繰り難	
07 原材料・在庫過剰	16 新分野進出	
08 店舗・生産設備不足・老朽化	17 その他:具体的に	
09 店舗・生産設備過剰	( )	

【質問3】貴社の事業承継の予定について、該当する番号に○印をご記入ください。

- 1: 後継者が決まっており、その後継者に事業を承継する
- 2: 後継者は決まっていないが、後継者候補はいる
- 3: 後継者は決まっておらず候補もいないが、事業は継続したい
- 4: 後継者がいないため、M&Aによる売却を考えている
- 5: 現在の事業を継続するつもりはない
- 6: 自分がまだ若いので、後継者を決める必要がない

【質問4】現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望についてご記入ください。

ご協力ありがとうございました。